

衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会ニュース

平成 22.5.10 第 174 回国会第 3 号

5 月 10 日（月）第 3 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。

理事 遠山清彦君（公明）（理事稲津久君今 10 日委員辞任につきその補欠）

2 沖縄及び北方問題に関する件

- ・岡田外務大臣、前原国務大臣（沖縄及び北方対策担当大臣）、松野内閣官房副長官、長浜厚生労働副大臣、榛葉防衛副大臣、吉良外務大臣政務官、高井文部科学大臣政務官、佐々木農林水産大臣政務官、楠田防衛大臣政務官、長島防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

小池百合子君（自民）

- ・事業仕分けにおいて独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構の運営委員会の経費を縮減しガバナンスの強化を求めた判定に対する前原国務大臣の所感を伺いたい。
- ・鳩山内閣総理大臣の「学べば学ぶほど海兵隊の抑止力が分かった」とする旨の発言に対する前原国務大臣の所感を伺いたい。
- ・普天間飛行場代替施設を 5 月末までに決着させるとは、与党内、地元及び米国との間で合意を取り付けることなのか。

北村茂男君（自民）

- ・普天間飛行場代替施設について、5 月末までに閣内の意思統一は可能か。また、政府案が出せなかったらどうするのか。
- ・昨年（8 月 30 日）前に普天間飛行場の移設先について「最低でも県外」とした発言は、党の公約ではなく党代表としてのものであると鳩山内閣総理大臣が発言したことに対する前原国務、岡田外務両大臣の見解を伺いたい。
- ・普天間飛行場代替施設の建設方式を埋立方式から杭打ち・橋脚方式に変更した場合、これまで行ってきた環境アセスメントを利用できるのか。また、公有水面埋立に関する知事の免許は必要になるのか。

遠山清彦君（公明）

- ・昨年 11 月に沖縄を訪問した際、岡田外務大臣は「平成 18 年の再編実施のための日米のロードマップは仲井眞知事の合意を残すのみである」旨の発言をしたが、現在

も同様の認識であるか。また、何故仲井眞知事の同意を取り付けるという手段をとらなかったのか。

- ・沖縄戦による人口減が原因で、前期高齢者交付金の恩恵を受けられていないことから発生した国民健康保険事業特別会計の赤字を抱える那覇市等に対し、特例措置を講じるべきと考えるが、長浜厚生労働副大臣及び前原国務大臣の見解を伺いたい。
- ・観光産業の振興を図るため沖縄県全域を観光特区とすべきではないか。

赤嶺政賢君（共産）

- ・沖縄戦没者遺骨収集事業において発見された遺骨はすべて DNA 鑑定を実施し、後に遺族の DNA と照合できるようにする新たなシステムを構築すべきではないか。
- ・鳩山内閣総理大臣の沖縄県訪問（5 月 4 日）及び徳之島の町長との面談（5 月 7 日）について岡田外務大臣の所感を伺いたい。

照屋寛徳君（社民）

- ・宮崎県で発生した口蹄疫について、現段階での被害状況とこれまでに殺処分された牛と豚の頭数、また、沖縄県に対する防疫体制の具体策及び沖縄県畜産農家への支援対策について伺いたい。
- ・全国の公立夜間中学校の数及び在籍者数並びに自主夜間中学校の在籍者数を伺いたい。
- ・沖縄の自主夜間中学校（NPO 法人 珊瑚舎スコーレ）については、現在、国からの財政支援はないが、自主夜間中学校に対して今後どのような財政支援をしていくのか、また、公立夜間中学校設立問題についての前原国務大臣の見解を伺いたい。

玉 城 デニー君（民主）

- ・我が国の防衛において在沖海兵隊が果たす抑止力について伺いたい。
- ・中国軍ヘリコプターの自衛隊護衛艦への近接飛行に対する政府の抗議内容及び中国の反応を伺いたい。
- ・政府における沖縄科学技術大学院大学の位置付けを伺いたい。

山 岡 達 丸君（民主）

- ・「沖縄戦は国内唯一の地上戦」であるとの認識は南樺太等において地上戦があったという事実に反しており改めるべきと考えるが前原国務大臣の見解を伺いたい。
- ・北方四島に関する前原国務大臣の認識及び同問題解決に向けた決意を伺いたい。